

【平成30年度 (公財)全国高等学校体育連盟卓球専門部第2回理事会 議事録】

日 時	平成31年3月25日(月) 9:00～11:30											
会 場	北九州市立総合体育館 大会議室											
出席者	後藤 泰之	小坂 信彦	稲垣 裕	堀内 安宏	安西弥一郎	蓑島 尚信	宗片 信一	丸山 茂樹	塚田 博文	村尾 直之	太田 恭之	千村 正純
	谷口 史子	加藤 慎一	島富 義之	藤井 健	塩見 卓生	藤崎 武司	藤村 明弘	真田 信弘	北 正博	細川 健治	岸 卓臣	植木 大
	川村 光男	鈴木 淳子	飯田 裕仁	小林 明史								(28名)

1 あいさつ (公財)全国高等学校体育連盟卓球専門部長 後藤 泰之

2 協議事項

第1号議案 平成30年度決算 について 丸山 事務局員

収入の部

- ・今年度の登録人数77,046人。主な収入は(公財)日本卓球協会登録還元金である。

支出の部

- ・積立金100万円(2020インターハイ用) , 50万円(90周年記念事業積立金)
- ・選抜大会のデータスタジアム配信費用として40万円計上。
- ・年報の印刷製本費が増加している。
- ・強化事業は経費の削減がすすんでいる。
- ・国際交流事業費においては特別支出があった。
- ・繰越金が約1,000万円になる予定。(積立金をのぞく)
- ・繰越金については、2020インターハイ、2021インターハイ記念大会に向けて準備している。

※承認

第2号議案 平成31年度事業計画 について

ア 平成31年度全国高校総体・第88回全国高校選手権大会(鹿児島県・鹿児島市)

①実行委員会より 北 開催地理事

実施要項(資料説明)

- ・2019年8月14日(水)～8月20日(火)鹿児島アリーナ
- ・開会式は8月15日(木)16時00分～鹿児島アリーナ
- ・諸会議は8月15日(木) 8:30～全国理事会 12:00～全国評議員会(30分早い)  
14:00～監督会議(30分早い)開会式までの時間をとるため。  
会場は鹿児島アリーナ(理事会・評議員会・監督会議は武道場Ⅱ)
- ・申込期限が2019年6月24日(月)
- ・プロ編成会議は7月4日(木)～6日(土)かごしま県民交流センターで行う。
- ・公開抽選会は武道場Ⅱで行う。公開抽選会終了後に理事会・評議員会の会場配置にする。
- ・一般の駐車場は確保しない。(選手・監督・役員の駐車場のみ確保する)
- ・ステージを設置しないので、観客席の一部を進行席等で利用する。
- ・開会式の時はフロアーに選手は整列して座っておく。
- ・アトラクション等はすべての競技で行わない。
- ・プロ編の各ブロック担当を4名にする。(地元の意向で)
- ・練習会場の鹿児島修学館はエアコンがないのでフリーの練習会場にする。
- ・従来のタイムテーブルボードは設置しないでスマートフォンを利用してタイムテーブルを配信する。併せて進行係を配置し、台のフェンスに試合番号を表示することでタイムテーブルを確認できる。

※承認

②連続・通算表彰関係について

川村 事務局員

- ・対象校は別表の通り。

※承認

③大会役員・競技役員編成について

安西 理事長

- ・大会役員・競技役員は、別表の通り。

※承認

イ 2019年度 第47回全国高校選抜大会(千葉県・千葉市)

真田 開催地理事

実施要項(資料説明)

- ・2020年3月25日(水)～28日(土)
- ・会場は千葉ポートアリーナ(メイン28台・サブ6～8台)
- ・観客席は4,380席ある。
- ・大型バスの駐車場が少ないので千葉ポートタワー大型バス駐車場を利用する予定。
- ・3/29～31の春季合宿は千葉ポートアリーナ(メイン)で行う。
- ・会場隣接のホテル内(TKBガーデンシティ千葉)で会議等を行う予定である。
- ・開催県のシングルス2名は同じ学校でも良い。過去に事例がある。

※承認

ウ 2020年度全国高校総体(岩手県・奥州市)

細川 開催地理事

実施要項(資料説明)

- ・2020年8月10日(月)～8月15日(土)奥州市総合体育館
- ・8月8日までは小学生のバレーボール全国大会があり、準備をすることができない。
- ・開会式は8月10日(月)16時30分～奥州市総合体育館
- ・プロ編成会議は7月9日(木)～11日(土)奥州市役所江刺総合支所(予定)
- ・2020インターハイから大会参加料が学校対抗45,000円、個人4,500円になる。
- ・大会日程やプロ編成会議の縮小、理事会・評議員会・公開抽選会について考えていく。
- ・2019年7月に実行委員会立ち上げ、2019年4月から細川先生が出向する。
- ・卓球台は国体で使用したものを利用する。
- ・サブアリーナに冷房施設がない。
- ・練習会場は遠く、車での移動が必要になる。練習コートは48台で都道府県各1台程度になる。

※承認

第3号議案 平成31年度予算(案)について

丸山 事務局員

(資料説明)

収入の部

- ・今年度の登録人数が76,965人に増加しているが76,000人で予想している。
- ・前年度とほぼ同じ

支出の部

- ・選抜も増額している。
- ・ミニミニとの契約は、平成30年度で終了、メーカーに協賛金を依頼する予定。
- ・国際交流事業に新規事業があるので増額している。
- ・インターハイの旅費が増えるので支出も増額。
- ・選抜のデータスタジアムの記録配信の費用を全国高体連専門部で負担していく。
- ・HPや表彰については消費税の関係で増額している。

※承認

第4号議案 委員会・事務局提案について

ア 強化委員会

①平成30年度強化報告・平成31年度強化計画(案)

宗片 副理事長

(資料説明)

- ・新規事業としては  
ジュニアサーキット(クロアチア大会)に参加させる。男女2名・引率2名。  
タイとベトナムで上位の選手を参加させる。

※承認

- ②平成31年度全国高体連卓球専門部春季強化合宿(案) 宗片 副理事長  
 実施要項(資料説明)  
 ・平成31年3月28日(木)～31日(日)小倉北体育館  
 ・参加選手は、男女各20名。福岡県より男女各4名。計48名  
 ※承認
- ③平成31年度日学連・高体連合同強化合宿(案) 宗片 副理事長  
 実施要項(資料説明)  
 ・平成31年4月12日(金)～14日(日) ナショナルトレーニングセンター  
 ・宿舎が池袋になる。  
 ※承認
- ④2019年度全国高体連卓球専門部新人強化合宿(案) 宗片 副理事長  
 ・2019年12月6日(金)～12月8日(日) 豊田市西部体育館・豊田市運動公園体育館  
 ・スカイホール豊田は確保できないため、男女別会場で開催する。  
 ※承認
- ⑤平成31年度強化委員会予算(案) 宗片 副理事長  
 ・クロアチア大会を入れている。  
 ・引率は高体連で2名引率。選手男女2名ずつで計画。  
 ※承認
- イ 年報編成委員会 塚田 副理事長  
 ・3社以外にも広告協賛を依頼する方向である。  
 ※承認
- ウ 競技運営委員会 藤井 競技運営委員長  
 規約規定の改訂(案)  
 ・インターハイの学校対抗の出場チーム数を変更。  
 ・選抜シングルス2部の過去の全国大会で国民体育大会(ブロック大会を含む)に変更。  
 ・外国人留学生、外国籍選手の区分の明確化。  
 ・開催地副部長の任期の変更。  
 ・プロ扱い選手、Tリーグ、外国人留学生について申請を徹底する。  
 ・各都道府県の評議員には年度初めに外国人留学生とプロ扱いの申請について連絡済み。  
 ・転校6ヶ月ルールについて確認。  
 ※承認
- エ 90周年準備委員会 塚田 副理事長  
 ①記念大会の開催(2021年夏・北信越インターハイ開催期間)  
 各ブロック1チーム増加(全国高体連承認済み)。選出方法は各ブロックに任せる。  
 ②記念式典の開催(記念講演・功労者表彰を行う。)  
 ③記念誌発行(作成構想案を提示)  
 ④歴代優勝者のパネルを作成  
 ・実行委員会を立ち上げる。
- オ 総務委員会  
 ①2020年度全国大会(IH・選抜)出場枠(案) 川村 事務局員  
 (資料説明)  
 ・平成31年度インターハイ・選抜参加定数の確認。男子学校対抗で東京は2チーム。  
 ・平成30年度8月の高体連加盟数と平成31年1月31日現在の日卓協加盟数資料を参考。
- ②株式会社ミニミニとの広告契約について 川村 事務局員  
 (資料説明)協賛が平成30年度で終了する。  
 ※承認

I 提案事項

1. 高校総体(インターハイ)について

(1) 2020年度インターハイ

- ・アトラクションの実施はしない。
- ・公開抽選会を行う。

2. 全国選抜について

(1) 開催地の費用軽減について(60万円～100万円)

- ・全国役員の開催地負担を15名から13名に削減。
- ・データスタジアムの経費は全国高体連で負担する。
- ・高校選抜ポスターを作成について、メーカーに協賛を依頼する。

3. 専門部関係

(1) 審判委員会について

- ・審判委員会について各ブロックから推薦、大会時の副審判長等の役員業務を依頼したい。
- ・審判員の有資格者(レフェリー)で教員の方をお願いしたい。
- ・鹿児島インターハイから実施したい。

II 検討事項

1. 高校総体(インターハイ)について

(1) 鹿児島インターハイについて

(2) 2020年インターハイについて

2. 全国選抜について

- (1) 49回は栃木に決定。50回記念大会は参加校が多いため、可能であれば大規模な体育館で実施したいとの提案は今後検討する。

3. 専門部関係

(1) 個人戦の参加枠について継続審議中(全国高体連はシングルス2+ダブルス2)

(2) ボール統一アンケートの対応について検討。アンケートは集約した。

(3) 世界選手権・世界ジュニア・オリンピックの視察等について検討。

3 報告事項

(1) (公財)全国高体連関係 (公財)日本卓球協会関係

安西 理事長

(資料説明)

(公財)全国高体連関係

- ・働き方改革について(部活動の指導について)
- ・インターハイの参加費が値上げ。

(公財)日本卓球協会関係

- ・ハラスメント対応について組織強化をはかる。
- ・JTTA相談窓口を設置する予定。
- ・事務局が移転。

(2) 平成30年度ブロック大会開催地予定

川村 事務局員

(資料説明)

(3) 全国大会開催地予定

蓑島 事務局長

(資料説明)

- ・できるだけ早めに決定できるよう協力をお願いしたい。

(4) ボール統一と個人戦に対するアンケート集計

藤井  
競技運営委員長

(資料説明)

(5) 全国指導者講習会報告

塚田 副理事長

(資料説明)

- ・来年度は実技講習実施を考えたい。